

2025.4.12

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会総会 部会長挨拶文

部会長 鳥丸 俊郎

日頃より札幌地区バスケットボール協会 U12 部会の運営に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。また、本日は、御多用の中、総会にご出席いただきましたことに、感謝申し上げます。

部会長を拝命して、1年が経過しようとしています。参観させていただいた試合やチームの行動、子どもたちの様子から、成長や変化を感じ、思わず微笑んでしまう機会をたくさんいただきました。昨年度の総会で掲げた「育成マインド」が着実に浸透していることに大きな手応えを感じています。

一方で、残念に思える事案にも、数件出会いました。特に、子どもの人権に関わることにつきましては、私自身の発信が十分ではなかったとの反省に立ち、この場をお借りして、述べさせていただきます。少子化が進んでいる現代において、子どもの人権は非常に価値が高くなっています。「一人一人を大切に」「誰一人取り残さない」「子どものよさや可能性を最大限に引き出す」などの発信が、教育の場からなされているのは御承知のことと思います。

そこで、今年度は「サイレントゲーム」の徹底を図っていきたいと考えています。「バスケットボールを楽しむ選手の主体性を大切にするために、試合中の選手のコミュニケーションを阻害するような声掛けは控える」「タイマーが止まった時に気付きを促すような声掛け、励ましを行う」「相手チームに対しても賞賛や励ましの言葉掛けをしていく」というのがその概要です。大会のみならず、練習試合などでも、徹底されることを目指していききたいものです。

この3月に行われた、全道部会長会議にて、伝達を受けたことにつきまして、2点皆様と共有をさせていただきます。

1点目は、特別ルールに関することです。御存知の方もいらっしゃると思いますが、3月の全国大会におきまして、「3ポイントの適用」「6号ボールの使用」「305 cmの高さのリングの使用」という3点の特別ルールが採用されました。3月という時期、各地区の代表チームであること、などが考慮された上での採用であったとのことです。これを受けて、今年度、道主催大会である夏の「サマーフェスティバル」と冬の「北海道ミニバスケットボール大会」「北海道ブロックミニバスケットボール大会」につきましては、「3ポイントの適用」を特別ルールとして採用する方向で検討しているとのことです。特別ルールにつきましては、あくまで子どもやチームの特性に沿ったものであると考えられることから、札幌地区の大会につきましては、原則現行のミニバスのルールに基づいた運営とさせていただきます。ただし、後期リーグにつきましては、ブロックやチームの状況に応じて、柔軟なルールの採用を検討いたします。

2点目は、基盤強化に関することです。バスケットボールの魅力を地域の子どもたちに体験してもらうために、基盤強化費が予算化されています。これまでも、各チームやブロックで、体験会などを実施されたことがあるのではないかと考えられますが、今年度は、一定のルールを設けて、このような活動へ、基盤強化費を適用できるようにしていきたいと考えております。詳しくは、後日、改めて情報発信させていただきます。

本日の総会には、今年度の運営に関する重要な内容が多々含まれております。是非、十分に御理解いただき、各チームの全ての関係者に伝達をいただきたいと思いますと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。